

ゑびす蔵通信

第12号 平成26年7月 発行

明治十八年創業
ゑびす酒造株式会社福岡県朝倉市杷木林田680-3
TEL 0946-62-0102 FAX 0946-62-2702
<http://www.ranbiki.com>

地元逸品紹介

筑前クロダマル



「黒田藩」を連想させるユニークなネーミングも◎な九州を主とした暖地向けに育成された黒大豆品種です。表面に光沢があり、やさしい甘さが特徴。茹でるとまるで栗のような味わいで、きなこにすれば、砂糖を入れていないのにほんのり甘く香り豊か。大豆には豊富な栄養素が含まれているのはご承知のとおりですが、この黒大豆の表皮には血液浄化作用や抗酸化作用があると言われるアントシアニンを多く含んでいます。大豆と同じように様々な料理に活用できますし、炒っただけのものでも甘く豊かな味わいが焼酎のおつまみにもよく合います。

ファーマーマーケット みなみの里

☎ 0946-42-8115

<http://chikuzen-minaminosato.jp>

編集後記

今回の大河ドラマは地元の史跡や神社仏閣に関わりの深い人物が登場するため毎週興味深く観ていますが、知らなかったことがとても多く良い勉強になっています。特に戦略や人間関係の描写に引き込まれてしまいます。こうして歴史的なことに触れていると、国は違えど論語の「故旧遺れば即ち民うすからず」や「故旧は大故なければ則ち棄てず」ということばもあります。数々の無礼、失敗をしでかしながらも見捨てずに接してくれる友人に感謝しつつ先人を敬う気持ちを大切にしなければと改めて感じます。

ゑびす酒造 専務 田中健太郎

黒田官兵衛 ゆかりの地

NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放送に合わせて黒田家にゆかりのある福岡県でも様々なところで官兵衛にちなみ催しものなどがあり、盛り上がりを感じられるようになってきました。この機会に地元朝倉における黒田官兵衛ゆかりの人物とそのスポットをご紹介します。

【栗山利安・円清寺】

始めの名を善助といい15歳にして官兵衛の家臣となった栗山利安は、幾多の合戦に戦功を上げます。有岡城での幽閉事件の時は一命を賭して主君の救出を図るなど、官兵衛の信頼厚き主席家老として重きをなしました。長政の筑前入国と同時に1万8000石が与えられ、麻底良の城を預けられました。1604年に如水（官兵衛）が没すると麻底良山の麓に円清寺を建立し主人の冥福を祈りました。



円清寺 福岡県朝倉市杷木志波5276

【黒田直之・秋月城址】

鎌倉時代のはじめから400年近く古処山城を拠城として朝倉地方を領有支配していた秋月氏は、16代種実の時代、豊臣秀吉の九州平定により日向の高鍋に領地替えとなります。1600年の関ヶ原の戦いの功績による恩賞を授かり筑前に入国した黒田長政は、秋月の地の重要性から叔父の直之を配しました。兄の官兵衛と同じ敬虔なキリシタンであった直之は城下に新しく天主堂を建立。復活祭や主だった祝日には筑後や肥前の信徒たちまで式や祭りに参加するようになるなど筑前におけるキリシタン信仰の中心地、九州伝導の本拠地となっていました。

【黒田一成・清岩禅寺】

官兵衛が有岡城に幽閉されていた時の監視役 加藤重徳は落城の際に息子の玉松を官兵衛に託します。長政と同様に養育を受けた玉松は黒田一成の名を授かり、二度の朝鮮出兵や関ヶ原、大阪夏の陣冬の陣などに陣し勇敢に戦いました。最も若くして黒田二十四騎の一人に加えられる実力者でした。知行地の交通の中核であった三奈木の茶臼山に清岩禅寺を建て禅宗の教えを広めるなど神社仏閣の建立、復興にも力を注ぎました。

